

令和5年3月16日

行田市長 石 井 直 彦 様

行田市男女共同参画推進審議会
会長 田代 美江子



令和3年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書 に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見

行田市男女共同参画推進条例第12条の規定及び第3次ぎょうだ男女共同参画プラン1章の「4計画の推進について」に基づき、令和3年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する当審議会の評価及び意見を下記のとおりまとめました。

第3次ぎょうだ男女共同参画プランは平成24年度から令和3年度までの10年間のプランとなっており、令和3年度のプラン進捗状況が10回目の評価となります。今回の当審議会の評価及び意見を踏まえ、各部署における今後の運営に活かしていただき、行田市における男女共同参画社会の実現の推進が図られ市民にとってより進展することを期待します。

記

- コロナ禍の中での事業推進は、とても大変だったことと思います。しかし、そのような中でもコツコツと続けていかなければならないものと考えます。進捗状況を分かりやすくするために、目標と結果を数字で明確に示すことを要望します。
- 各課とも男女共同参画の主旨に添って努力の形跡が見られます。引き続き努力することを希望します。
- 15ある重点施策のそれぞれにおいて、見直しや改善点が見受けられます。評価する意義を実感しています。
- 明確な評価基準がないため、担当課による成果に対する評価にばらつきが見られます。取組について明確な評価基準の設定を希望します。

なお、各重点施策についての各部署における自己評価に対するコメント及び個別評価を別紙のとおりまとめましたので参考にしてください。

行田市男女共同参画推進審議会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 等	備 考
学識経験	田代 美江子	国立大学法人埼玉大学	
	山崎 孝子	埼玉県男女共同参画アドバイザー	
	井上 文子	社会保険労務士	
	茂木 美智代	埼玉県家庭教育アドバイザー	
関係団体の代表	吉田 江利	(公社) 行田青年会議所	
	高野 葉子	行田市校長会	
	金子 彰	公民館長	
	根岸 君枝	行田市民生委員・児童委員連合会	
	櫛引 浩士	行田市 PTA 連合会	
	横田 範博	行田市自治会連合会	
関係行政機関	堀越 稔	埼玉県利根地域振興センター	
公募市民	大野 久美子		
	加藤 修一		

1 男女共同参画に関する推進体制の強化

担当部署	コメント
中央公民館	・全体の男女の比率を明記してください。
建築開発課	・どのような運用に努めたのか、具体的目標値を明記してください。
男女共同参画推進センター	・主催事業において団体登録の呼びかけ等を行い登録団体を9団体から11団体に増やしたことを評価します。 ・幅広い市民層が訪れやすいクラブ・講座等の仕組みづくりに取り組んだことを評価します。
環境課	・共同参画の主旨から女性委員を30%(8名)以上採用にあたっては公募だけではなくあらゆる機会を通じた努力を要望します。
農業委員会	・農業イコール食の時代になり、女性委員の観点が重要視されているので、あらゆる機会を通じて30%(6名)以上の確保に努力してください。 ・農地利用最適化推進委員にもっと女性を登用し、女性の意見の反映に務めてください。
教育総務課	・教育委員4名のうち、女性が2名となっているのを評価します。
生涯学習スポーツ課	・積極的に人権について啓発活動を行っており、計画を達成していることを評価します。

2 政策決定過程における男女共同参画の推進

担当部署	コメント
生涯学習スポーツ課	・男女の比率の達成度が高いことは、評価します。 ・体育館、公民館活動での公募の対象者等への声掛けを積極的に行うよう努めてください。
人事課	・先輩女性職員の経験談を通じて自分自身のキャリアデザインを考える研修を実施したことを評価します。
営繕課	・市営住宅委員8名のうち女性3人を登用し、意見を反映していることを評価します。
教育総務課	・教育振興奨励金審査委員に4割以上の女性の登用を望みます。
商工観光課	・啓発活動を行い、男女共同参画の視点でそれぞれ成果があったことを評価します。

3 市民との連携による男女共同参画の推進

担当部署	コメント
地域活動推進課	・各事業内容が活発になってきたと感じられます。 ・各自治会へ役員改選時に女性の積極的な登用を依頼したとありますが、現状の把握とともに、女性がやりやすい仕組みの(副会長の人数)構築を希望します。(現在自治会役員をしていますが、女性が会長になるのは簡単ではないと感じています。) ・多媒体で各団体の活動を紹介、発信し行田市市民公益活動団体が9団体増加したことを評価します。
広報広聴課	・外国人向けの行田市要覧の頒布に努めたことを評価します。
男女共同参画推進センター	・コロナ禍でなくなった折には、グループづくりのきっかけとなる講座の企画を望みます。
環境課	・目標に対する計画が具体性に欠けており、明確な評価基準を設定することを希望します。
教育指導課	・小学校も高学年や中学年だけでなく低学年の外国語の授業も計画的に実施され、生きた英語にふれ充実した取組となっていることを評価します。
商工観光課	・啓発活動を計画通り実施していることを評価します。

4 男女の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

担当部署	コメント
人事課	・評価はAでいいと思いますが、セミナー参加者(42名)の男女の内訳を明記してください。 ・仕事と生活の調和を図るワークライフバランス研修を実施したことを評価します。 ・Eメールでノー残業デーを全職員に周知したことを評価します。 ・実施施策は理解できますが、結果報告の内容は評価できません。
商工観光課	・啓発活動であり、計画通り実施していることを評価します。

男女共同参画推進センター	・啓発活動であり、計画通り実施していることを評価します。
--------------	------------------------------

5 経済社会における男女共同参画の推進(雇用機会均等法)

担当部署	コメント
人事課	職員のメンタルヘルスケアを行っていることを評価します。
農政課	女性農業者を増やすためにももっと活発に就農相談を開催することを希望します。
商工観光課	啓発活動であり、計画通り実施しているので評価します。

6 子育てしやすい環境の整備・充実

担当部署	コメント
子ども未来課	・単に数字をクリアすることだけではなく、計画を実施していることを評価します。 ・「きっずプラザあおい」で子育て相談をしたことを評価します。
人事課	・男性職員の育児休業を1人が取得したことは評価できます。 ・取得可能者が何人いて取得率は何%になるのかを明記し、国の取得率(13.9%)と比較することを希望します。
教育研修センター	・常駐する相談員はもちろんですが、専門的な力量を持ったスタッフがいて、きめ細かな対応がとられていることを評価します。
商工観光課	・啓発活動で計画通り実施していることを評価します。

7 男女共同参画の視点に立った防災・防犯体制の推進

担当部署	コメント
危機管理課	・出前講座等啓発を行ったとありますが、目標と結果の回数が不明確のため、明記することを要望します。 ・出前講座等に話題となっている内容を取り入れるなど、新しい試みを実施していることを評価します。
男女共同参画推進センター	・課題に、「いざというときに慌てずに冷静に動けるよう、防災に関する知識や技能を習得する必要性がある」とされており、コロナ禍であっても、コロナ禍だからこそ、なお重要だと感じています。これからも、継続的な女性リーダー育成のためのセミナー開催を継続することを要望します。
地域活動推進課	・防犯推進委員の女性の割合を増やし地域における防犯活動に女性の視点を取り入れられるよう希望します。 ・避難所運営に必要な自治会向けマニュアルの作成を要望します。

8 生活上の困難に直面しやすい人々が暮らしやすい環境の整備

担当部署	コメント
地域活動推進課	・外国人のサポートをしている市民活動団体と協働して事業を実施していることを評価します。 ・法律相談131件は素晴らしいと評価します。 ・これからより多くの外国籍の方が居住することが考えられます。市民の窓口はもちろんですが、子供が学校に通う際の言葉の面でのサポートがさらに充実することを希望します。
子ども未来課	・②の具体的施策は「母子父子家庭」あるいは「ひとり親の」とすべきではと考えます。
高齢者福祉課	・在宅介護事業の充実として事業を進めており、男女区別なくサービスの提供を務めたと記載があり、男女それぞれ成果があったことを評価します。

9 生涯を通じた健康づくりへの支援

担当部署	コメント
健康づくり課	・診断クーポンの送付やヤング乳がん検診の実施により検診受信者を増加させたことを評価します。 ・母子に関する健診を実施し、早期発見し、必要な支援を行ったことを評価します。

10 暴力のない社会づくりの推進

担当部署	コメント
子ども未来課	・家庭児童相談室を設置し相談体制の重質に努めていることを評価します。 ・家庭児童の継続設置ならびに要保護児童対策協議会の開催を評価します。 ・深刻なケースもありますが、家庭と連携し、学校にも即連絡をしていただいて、相談に乗ってもらっていることを評価します。 ・事業実績を評価します。
福祉課	・虐待情報を入手した際に捜査機関、各関係機関と連携して対応しているので非常に良いと思われますので、これからも継続していくことを希望します。 ・虐待問題の対応については、職員が熟知しているので継続することを要望します。
教育指導課	・啓発教材配布と実施依頼のみであり、結果と効果の評価に欠けます。

11 DV被害者の安全確保と支援体制の充実

担当部署	コメント
福祉課	・協定締結事業所を増やして、虐待防止・早期発見に繋げることを要望します。
人権推進課	・被害者情報がないので、具体的な明記を希望します。
子ども未来課	・実績の成果が上がったことを評価します。

12 セクシャル・ハラスメント防止対策

担当部署	コメント
人事課	・参加者の男女比の明記を希望します。 ・ハラスメント防止研修の実施を評価します。

13 関連機関との連携の推進

担当部署	コメント
男女共同参画推進センター	・庁内DV対策連携会議を通して情報共有したことを評価します。 ・相談員、他部門との垣根を超えた行動と人命第一の活動したことを評価します。

14 性別による固定的な役割分担意識の解消

担当部署	コメント
健康づくり課	・父親の参加人数の明記を希望します。 ・パパママ教室の参加を促進したこと、男性が参加しやすいように工夫したことを評価します。 ・コロナ禍の影響があったと思いますが、保健センター見学は外部だけでなく施設内部も検討してください。
男女共同参画推進センター	・講座企画は大変良かったと思われますが、参加者の男女比の明記を希望します。
長野保育園	・コロナ感染下においても防止対策をし、1日保育士体験運動会を行い、父親の参加を実行できたことは評価します。

15 男女平等教育の推進

担当部署	コメント
教育指導課	・中学校における社会体験チャレンジ事業で生徒の姿を色々なところ見かけます。実体験する姿を見かけとても良いと評価します。 ・毎年必ず各学校に計画を見直させるとともに、人権感覚育成プログラムを活用し、様々な人権問題課題に対する教育がなされるようにしていることを評価します。

